

# IBM WebSphere Application Server V6.1

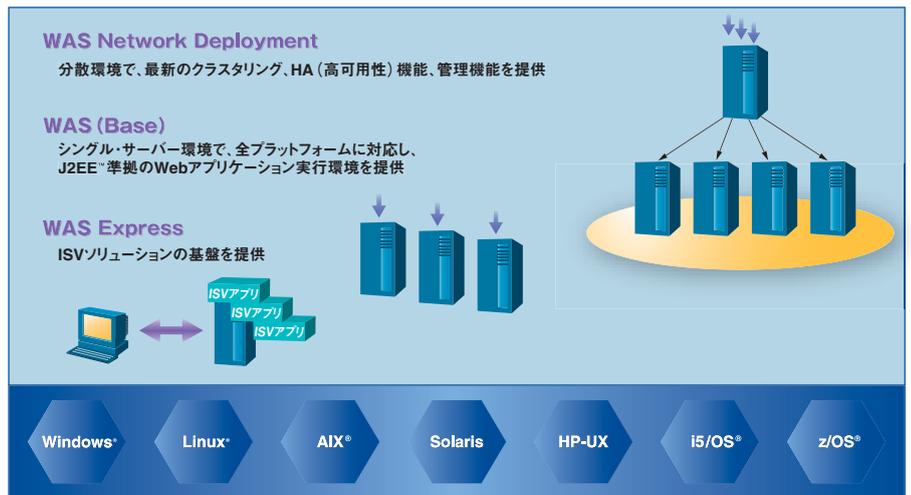
業界を代表するJava™ ベースのWebアプリケーション・サーバー、WebSphere Application Server (WAS) は、J2EE 1.4に準拠したWebアプリケーション・サーバーとして、オンデマンド・ビジネスの実現をサポートし、さまざまなアプリケーションの実行環境を提供しています。

WebSphere Application Server V6 (WAS V6) は、システムの可用性を大幅に向上させるHA (高可用性) 機能をサポートし、最新のバージョンWAS V6.1では、J2SE 5.0に対する互換性をサポートして、さらに柔軟でセキュアなサービス指向アーキテクチャー(SOA)の機能をより拡充しました。

また、WAS V6.1は、優れたトランザクション管理、セキュリティ、パフォーマンス、可用性、接続性、拡張性を提供することにより、WebSphereファミリー製品を基盤としてサポートしています。

システムのトランザクション処理中にハードウェア障害やプロセス障害が発生した場合、トランザクション処理が正常に完了したかどうか判断できないこともあります。また、このような状況ではハードウェアとアプリケーション・サーバーが再起動するのを待つ必要があり、業務を再開するまでに時間がかかることになります。WAS V6のHA機能は、たとえWAS V6が搭載されたサーバーのうち1台がダウンしても、ダウンしたサーバーの履歴情報を、別のWAS V6搭載のサーバーが参照することにより、即座にトランザクションを継承できる機能を提供します。これにより、システムのダウン時間を最少にとどめ、業務を継続することができます。

さらに、WAS V6.1では、SOA (サービス指向アーキテクチャー) のための機能をより拡充しました。SOAとは、事業体において相互に結び付いているビジネス機能、業務プロセス、組織を有機的に結びつけ、ビジネスの変更にも柔軟に対応できるITインフラを構築する考え方です。これらは「サービス」と呼ばれる、再利用できる標準化されたソフトウェア・コンポーネント(部品)を通じて、すぐに組み合わせられます。WAS V6.1はシステム間の多様なアプリケーションの柔軟な連携はもとより、メッセージング機能の優れた統合や、貴重な時間やリソースを節約できるように、アプリケーション開発や配置も容易に実現できます。さらにWAS V6.1は、アプリケーションおよびサービスにおいてセキュアでスケラブルな信頼できる環境を提供します。IBMはオープンな業界標準および多くの新しい主要標準をサポートしています。



プラットフォームについても、引き続き広範をサポートすることにより、お客様が選択されたプラットフォームで実行するアプリケーションを作成できます。また、WAS V6.1には開発と運用・管理の効率化をサポートする、以下のような機能があります。

- J2EE 1.4およびJ2SE 5.0完全互換、JDK (Java Development Kit) 5.0の実装により、プログラミング効力、実行時のパフォーマンスも最適化されます。
- 最新のWebサービス標準をサポートするV6では、新しいXMLパーサーの採用、SOAP with Attachments API for Java (SAAJ) 1.2の実装などにより、Webサービスのパフォーマンスが向上しています。さらに、PME (プログラミング・モデル拡張) や、予定されている業界標準機能の先行サポートにより、いち早く最新テクノロジーを活用したアプリケーションを構築できます。
- IBM Installation Factory for WebSphere Application Serverは、素早く実行環境に移行できるように設計されたWAS V6.1の新機能のひとつです。WASのインストールを容易に、かつ反復可能なものにします。これにより貴重な時間を節約して効率化を促進することができます。
- JSF (JavaServer Faces) の実行環境がサポートされ、データ・グリッド、リッチ・クライアント、入力支援コントロールなどのリッチな拡張コンポーネントを利用したアプリケーションの構築を容易に実現できるようになります。
- 複数バージョンの混在するセルをサポートし、WAS V5.xのシステム環境からWAS V6.xの環境へ、容易に段階的に移行することが可能です。

- WebSphere Rapid Deploymentにより、アプリケーション・プログラムの一部を変更した場合に、変更されたプログラムを稼働中のサーバーに自動的に展開することができます。
- システムの稼働を管理する管理コンソールは、IBMソフトウェア製品群に共通のフレームワーク (ISC: Integrated Solution Console) を採用しています。WAS V6.1ではWAS V6の管理コンソールの見た目や操作性はそのまま継承しつつ、ユーザーごとに表示するタスクを編集する機能の追加など、さまざまな拡張が行われています。
- WAS V6.1ではIP電話やTV会議、チャットなどで使用するプロトコル: SIP (Session Initiation Protocol) に対応し、JSR 116準拠のSIPサブレットの実行環境を提供します。新しい通信サービスが追加になり、新しいユーザー層からのアクセスや新規ビジネスの可能性が広がります。

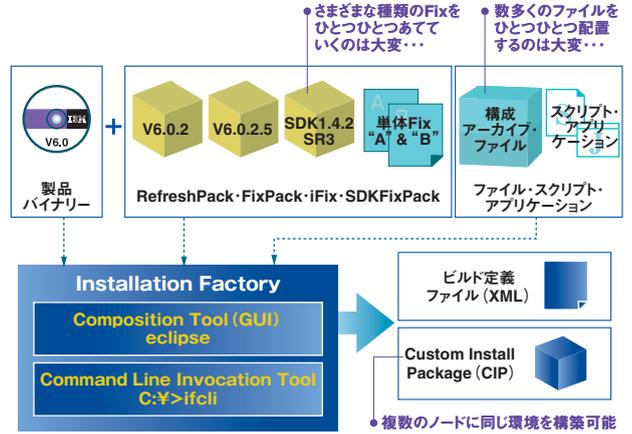
WAS V6.1の開発ツールとしては、Eclipse機能拡張をしたApplication Server Toolkit (AST) V6.1があります (ASTは、WASに同梱で出荷されます)。またRational® 製品にラインアップされています「Rational Application Developer」「Rational Software Architect」とも相互に互換性を保つ設計を計画しています (開発意向表明)。

WebSphereはオープン・スタンダードに準拠し、進化を続けていますが、IBMはこれらのスタンダードの策定でもさまざまな形で継続的に貢献しています。

## Installation Factory V6.1により、複数の手順をひとつのインストール・イメージにまとめて容易にセットアップが可能に

### Installation Factory V6.1の主な機能と特長

- EclipseベースのGUIツール・CLIツールを提供
- フルインストール、部分的なアップデートどちらも可能なカスタム・パッケージ(CIP)を作成
- 以下を含めたCIPの作成・カスタマイズが可能
  - 各種FixPack、スクリプト、構成アーカイブ(CAR)、EAR/Enhanced EAR
- クロス・プラットフォーム・パッケージの作成
  - UNIX®、Linuxプラットフォームで別UNIX、Linuxプラットフォーム用CIPの作成
  - UNIX、LinuxプラットフォームでWindows用CIPの作成
  - Windowsプラットフォームでi5/OS用CIPの作成
- i5/OSのサポート
- 64bitプラットフォームのサポート



## HA (高可用性) 機能により、可用性を飛躍的に向上

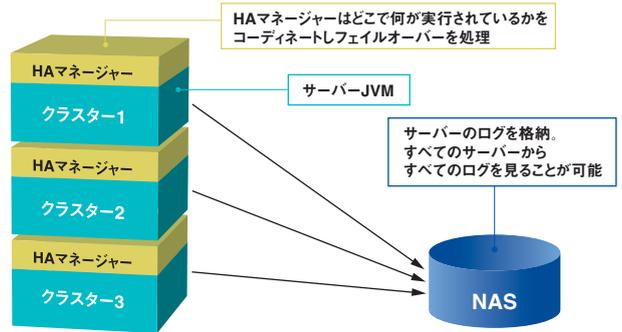
### ミッションクリティカルなアプリケーションの連続した稼働を可能にする、HA機能を標準搭載

#### 特長

- HA構成が飛躍的に単純化されHA構成のコスト削減と複雑さの軽減
- OSレベルでのHA機能を使用せずに、サーバー・ダウン時のアプリケーション・レベルでの高速な切り替えが可能

#### 仕組み

- HAマネージャーが実装され、利用可能なサーバー上でフェイルオーバーなどの主要なサービスを実行
- NAS (ネットワーク接続記憶装置) のフォールト・トレラント・ストレージ技術の活用



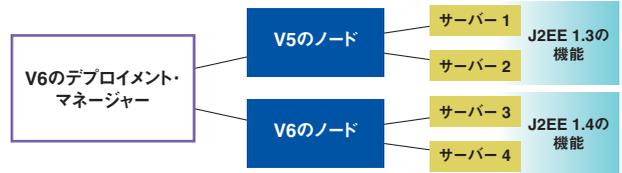
## 複数バージョンが混在したセル構成のサポート

### 異なったバージョンの複数のノードを持ったセル構成をサポートし、V5.Xのセル構成のシステムをノードごとにV6に段階的に移行させることが可能

- デプロイメント・マネージャーをV6に移行
- その後、ノード単位で段階的にV5.xからV6に移行

#### サポートされるバージョン

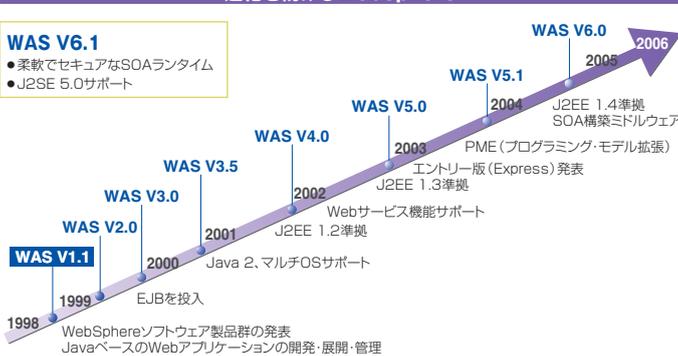
- V5.0.x ● V5.1.x ● V6



## 進化を続けるWebSphere

### WAS V6.1

- 柔軟でセキュアなSOAランタイム
- J2SE 5.0サポート



● 開発意向表明についての製品化・サービス化は、IBMの今後の技術上および経営上の判断により最終決定されるものであることをお断りさせていただきます。

IBM, IBMロゴ, AIX, i5/OS, OS/400, Rational, WebSphere, z/OSは、IBM Corporationの商標。  
 Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。  
 JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標。  
 UNIXは、The Open Groupがライセンスしている米国およびその他の国における登録商標。  
 Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。  
 他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

## 稼働環境 (サポート・プラットフォーム)

詳細と最新サポート状況は、下記URLのWebサイトでご確認ください。  
 → <http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/doc/latest/prereq.html>

### ■ 32 bit プロセッサ

- Windows 2000/Windows 2003 ● Sun Solaris ● HP-UX
- Linux ● AIX ● OS/400® ● i5/OS ● z/OS\*1

### ■ 64 bit プロセッサ

- Windows 2003 ● Sun Solaris ● HP-UX ● Linux
- AIX ● OS/400 ● i5/OS ● z/OS\*1

\*1: 別製品 (WAS for z/OS) として提供されます。

IBM製品・サービスの詳細情報については、  
 IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/>  
 をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、  
 または、ダイヤルIBM (☎ 0120-04-1992) へ。  
 受付時間: 月~金 9:00~18:00 (土、日、祝日、12/30~1/3を除く)  
 携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。  
 ダイヤルIBM 03-6220-8002 (この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)



## 日本アイビーエム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12  
 09-06 Printed in Japan

●効果はおお客様の環境その他の要因によって異なります。●掲載された情報は2006年9月現在のものです。●仕様は事前の予告なしに変更する場合があります。●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

G588-2615-02